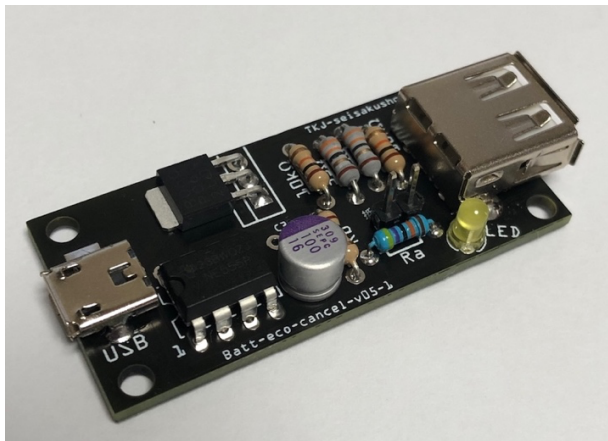


## バッテリーエコキャンセル基板 V2(基板バージョン v05 以降)

### <<概要>>

モバイルバッテリーで Arduino や Raspi-Pico、自作の電子回路を動作させた場合、バッテリーをつないでしばらく動作するが、直ぐに電圧が止まってしまいます。これは、モバイルバッテリーの eco 機能で、低負荷時に電圧を切ってしまう機能が作動するからです。本基板はこの機能をキャンセルして、常時電圧を出力できるようにします。

### <<基板構成>>

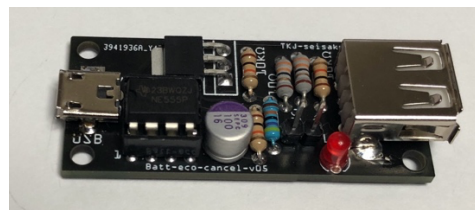


### 使用方法

1. USB micro-b にモバイルバッテリーを接続
2. USB-A に負荷を接続します。
3. モバイルバッテリーを接続してしばらくすると、LED が点滅します。点灯している間負荷をかけます。
  - (ア)初回点灯時は約 1 分
  - (イ)2 回目以降は約 35 秒～約 45 秒を繰り返します
  - (ウ)点灯時間は約 0.7 秒
4. LED が点灯している期間約 100mA 前後の電流を流し、電圧 off をキャンセルします。  
(負荷はジャンパーブロックありで約 150mA、なしで約 75mA を選択でき



ジャンパーブロックあり



ジャンパーブロックなし



#### sensorPico での使用例

バッテリー直だと 100 秒程度で切れてしまいますが、本品を使うことにより、バッテリーの持つ限り動作し続けます。

#### 注意事項

- ◆LED が点灯しっぱなしになるのは異常です。この時、制限抵抗に電流が流れ続けますので、発熱します。火傷しますので使用を中止してください。
- ◆USB micro-b の端子は、その構造上非常に弱いです。USB ケーブルを接続する場合は、ねじらずに抜き差しするとともに、指を添えるなど工夫してください。
- ◆基板には各部品の端子が裸状態です。使用の際にはカバーをするなど短絡対策を施すなどしてください。
- ◆本基板はもともと、無負荷時オートパワーオフ機能をキャンセルするためのものですので、大電流を使用する機器には使用されない想定で設計されています。そのため、おおむね 0.5A 以上での使用はしないでください。
- ◆本品は約 40 秒に一度負荷をかけますが、最初だけ約 1 分ほどかかります、そのため 60 秒以内で eco 機能の働くバッテリーでは電圧が切れてしまいます、その場合は、バッテリーのスイッチ押していただくか、バッテリーを外して直ぐに接続してください。普通はそれで、eco 機能をキャンセルできます。30 秒以内に eco 機能が働くバッテリーには本品は対応できません。

--以上--

川端孝宣 tkj-works@mbr.nifty.com <https://raspi.thebase.in>